

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

(一社) 日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称 (No1)	◇将来の担い手確保に向け、親子・高校生・大学生を対象とした『現場見学会』の実施
<p>1. 実施時期</p> <ul style="list-style-type: none">・ H31年4月から令和2年3月を実施期間としました。・ 令和元年度は現在まで5回開催しています。 <p>2. 実施場所</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日建連会員企業が施工する建設現場を見学しました。(広島県・岡山県・島根県) <p>3. 対象者(参加見込又は参加者数)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 親子、工業高校、高専、大学生を対象に実施しました。 <p>4. 共催・単独等の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 5回開催のうち 4回は日建連主催 1回は土木学会と共催 <p>5. 事業等の内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日建連中国支部で作成した「現場見学受け入れ可能一覧表」を毎年3月に作成し、中国地区の大学、高専、工業高校に送付することで、学校の行事に組み入れていただき計画的に見学会を開催しています。 また、「現場見学受け入れ可能一覧表」は中国地整のHPにも掲載されています。 <p>6. 期待される効果(実施結果:効果)</p> <ul style="list-style-type: none">・ 普段見ることのできない建設現場を直接見てもらうことにより興味を持ち、魅力を感じ取ってもらう事で、将来我々の業界へ入職し活躍してもらえると期待しています。 <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和2年度についても同様に実施する計画です。	

注1: 提出資料は電子データとしてください。

注2: パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

2019年6月11日 山口県立岩国工業高校 都市工学科3年生39名 現場見学会
広島県企業局発注：「広島水道用水供給事業 二期トンネル整備工事（海田～矢野工区）」

・立坑（防音建屋）入り口にて



・工事概要等説明状況



2019年7月20日 土木学会との共催 広島県 呉市内の親子 24組 51名 現場見学会
 広島県企業局発注：「広島水道用水供給事業 二期トンネル整備工事（海田～矢野工区）」

(第三種郵便物認可)

中 建 日 報

2019年(令和元年)8月1日(木曜日)

(2)

土木学会中国支部
 日建連中国支部共催

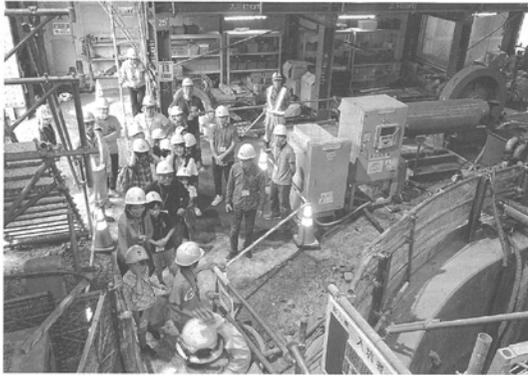
二期トンネル現場 夏休み親子見学会

児童ら迫力と最先端技術に興味

子供ら多人数の親子見学会が、土木学会中国支部(呉市)と日建連中国支部(広島県)が主催する「二期トンネル現場 夏休み親子見学会」が、20日(木曜日)広島県企業局管内の二期トンネル整備工事(海田～矢野工区)の現場で開かれた。親子見学会は、親子でトンネルの現場を見学し、最先端技術に興味をもち、職業観を養うことを目的として開催されている。当日の見学会には、親子51名、関係者約100名が参加した。見学会は、まず現場入り口で、関係者による説明があった。関係者は、トンネルの現場の見学は、子供らにとって貴重な体験であり、最先端技術に興味をもち、職業観を養うことが、今後の成長につながることを話した。関係者は、トンネルの現場の見学は、子供らにとって貴重な体験であり、最先端技術に興味をもち、職業観を養うことが、今後の成長につながることを話した。

見学会は、まず現場入り口で、関係者による説明があった。関係者は、トンネルの現場の見学は、子供らにとって貴重な体験であり、最先端技術に興味をもち、職業観を養うことが、今後の成長につながることを話した。関係者は、トンネルの現場の見学は、子供らにとって貴重な体験であり、最先端技術に興味をもち、職業観を養うことが、今後の成長につながることを話した。

関係者は、トンネルの現場の見学は、子供らにとって貴重な体験であり、最先端技術に興味をもち、職業観を養うことが、今後の成長につながることを話した。関係者は、トンネルの現場の見学は、子供らにとって貴重な体験であり、最先端技術に興味をもち、職業観を養うことが、今後の成長につながることを話した。

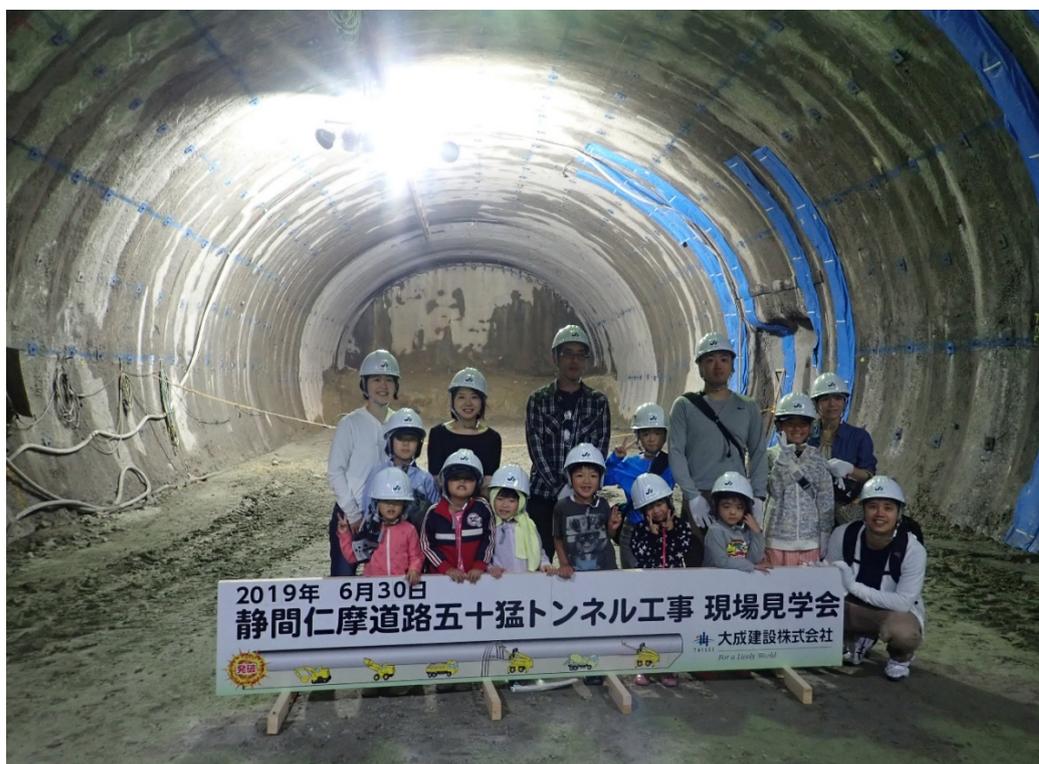


前期トンネル整備工事(海田～矢野工区)の現場で開かれた親子見学会の様子。

2019年6月30日 地域の親子見学会 56人

中国地方整備局発注：静岡仁摩道路 五十猛トンネル工事

・坑口集合写真



2019年7月5日 岡山理科大学 4年生 14名

(株)和田コーポレーション発注 仮称ロイヤルガーデン桑田新築工事

・集合写真



2019年9月30日 独) 徳山工業高等専門学校 土木建築工学科 2年生 42名
尾道市発注 尾道新庁舎建設工事
・集合写真



2019年9月30日 独) 徳山工業高等専門学校 2年生 42名
広島県企業局発注 広島水道用水供給事業 二期トンネル整備工事 (海田~矢野工区)
・集合写真



・工事概要説明



・立坑 防音ハウス内



(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

(一社) 日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称 (No2)	◇高校生・大学生向け『出前講座』の開催
<p>1. 実施時期 (4回開催しました。)</p> <p>i. 広工大 : 令和元年6月20日(木) 「シビルエンジニアの仕事・OBからの体験談・ゼネコン人事から建設業が求める人材」</p> <p>ii. 岡山県工 : 令和元年11月20日(水) ～建設版ドリームファンダーを未来の建設技術者に「宇宙エレベーター構想・建設現場における次世代技術」</p> <p>2. 実施場所</p> <p>・広島工業大学(三宅の森Nexus21)・岡山工業高校(岡山三木記念ホール)</p> <p>3. 対象者(参加見込又は参加者数)</p> <p>・広島工業大学 環境土木工学科1・2・3年生 (100名)</p> <p>・岡山工業高校 土木・建築科1~3年生・教員・保護者 (250名)</p> <p>4. 共催・単独等の開催状況</p> <p>・日建連主催</p> <p>5. 事業等の内容</p> <p>・夢や希望をもって若者の入職を増やしていく取り組みの一環として、土木の仕事や、発注者、設計者、施工者の役割、建設業が求める人材、建設業が取り組む未来構想など説明し、正しく理解してもらえるよう講義を行いました。また、トンネルやダムなど土木を代表する工事の施工事例や新技術の採用事例などについて説明し将来の職業選択の判断材料になるよう期待しているところです。</p> <p>6. 期待される効果(実施結果:効果)</p> <p>・講座後、生徒からも土木技術者の仕事を知る貴重な機会だった。また、土木技術者の資格取得に前向きな意見など土木を代表する工事の事例や建設業の未来構想にも大きく興味を持ったとの感想も頂いた。</p> <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他</p> <p>・令和2年度についても同様に実施する計画です。</p>	

注1: 提出資料は電子データとしてください。

注2: パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

2019年6月20日 広島工業大学 環境土木工学科 1年生 100名
「シビルエンジニアの仕事・OB体験談・ゼネコン人事部から講義」



2019年11月20日 岡山県立岡山工業高校 土木・建築科 ・教員・保護者 250名
～建設版ドリームファンタジーを未来の技術者に～

1. 宇宙エレベーター建設構想



2. 建設現場における次世代技術



(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

(一社) 日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称 (No3)	建設技術フォーラム 2019in 広島に於ける、学生を対象とした「学生交流広場」を設置し建設業の魅力を発信。
1. 実施時期	・令和元年 11 月 26 日（火）～27 日（水）開催
2. 実施場所	・広島産業会館（東館）
3. 対象者（参加見込又は参加者数）	・中国地区管内の高校・高専・大学生（5 校 305 名）
4. 共催・単独等の開催状況	・主催は建設フォーラム実行委員会（実行委員長：日建連） ・協賛は日建連他 14 団体
5. 事業等の内容	・発注機関（中国地整、自治体、NEXCO）大学、建設関連団体やその会員企業から最新の技術など一堂に集め展示し、一般や関係者に紹介することで建設業をアピールしました。 昨年に続き、会場内に学生を対象とした「学生交流広場」を設置し、管内の高校・高専・大学の生徒を会場に招き、各ブースで建設業の魅力の発信を行いました。 (3 高校・1 高専・1 大学) (305 名)
6. 期待される効果（実施結果：効果）	・建設業の最新の技術を多くの人に見て、知って頂く事と、新たな試みで実施した「学生交流広場」での魅力発信などで、建設業を正しく知ってもらい、良いイメージを持って建設業への入職を期待するところです。この機会を通じて入職があった。
7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案	
8. その他	・令和 2 年度についても同様に実施する計画です。

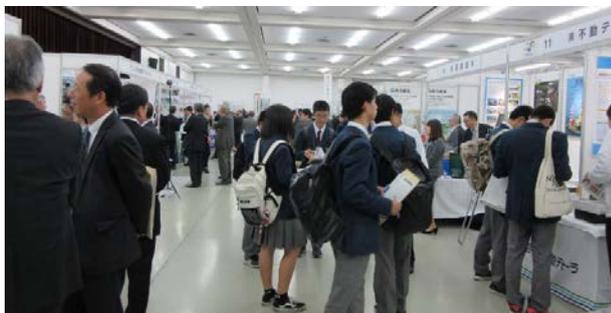
注 1：提出資料は電子データとしてください。

注 2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

建設技術フォーラム 2019in 広島における「学生交流会の開催」

・開会セレモニー

・ブース見学



交流会 中国地域の大学・高専・高校生（5校 305名）を対象に建設業の魅力発信



(別添様式1)

令和元年度 建設産業魅力発信（担い手確保・育成）取組実績

機関・団体等の名称

(一社) 日本建設業連合会 中国支部

事業等の名称 (No4)	「広報誌」による建設業界のイメージアップ (けんせつ小町の活躍する現場紹介)
<p>1. 実施時期</p> <ul style="list-style-type: none">・ 広報誌は平成 31 年 3 月末に発刊しました。 <p>2. 実施場所</p> <ul style="list-style-type: none">・ 各現場へ出向き取材 <p>3. 対象者（参加見込又は参加者数）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日建連会員企業に所属するけんせつ小町を紹介 <p>4. 共催・単独等の開催状況</p> <ul style="list-style-type: none">・ 日建連単独 <p>5. 事業等の内容</p> <ul style="list-style-type: none">・ 広報誌は支部行事のほか、建設現場で活躍する女性技術者の特集として 6 名の技術者を掲載しました。（添付資料は H30 年度のものです。） <p>6. 期待される効果（実施結果：効果）</p> <ul style="list-style-type: none">・ 広報誌により建設現場で活躍する女性技術者を紹介することで女性への入職に繋げたい。 <p>7. 運営上の課題と課題解決に向けての検討・提案</p> <p>8. その他</p> <ul style="list-style-type: none">・ 令和 2 年度についても、実施する計画です。	

注1：提出資料は電子データとしてください。

注2：パンフレット等製本資料がある場合は、必要部数を参加者集計の後お知らせしますので、各機関で部数を揃え、期限までに事務局へ提出してください。

現場ルポ▶▶▶ 女性技術者が現場を変える!



工事現場で活躍 けんせつ小町

「けんせつ小町」とは建設業で働く全ての女性の愛称。
2014年10月、ストレートに「建設」と、美しく聡明な女性を表現した「小町」の組み合わせは、建設業界の呼称として解りやすく、時代に左右されない愛称であることから決定しました。そこで、今まさに現場で活躍されている「けんせつ小町」の皆さんを取材してきました。

建物が出来上がる様子を、 間近に見られる醍醐味。

五洋建設(株)
中国支店

小林 京佳さん

(こばやし きょうか)

千葉県生まれ。千葉工業大学工学部建築都市環境学科卒。
2017年五洋建設入社。2018年10月からヨシワ工業株式会社
本社海田工場新築工事に配属。



現場情報

- 工事名称 (仮称)ヨシワ工業株式会社本社海田工場
新築工事(1期:Ⅱ期)
- 工事場所 広島県安芸郡海田町明神町1-48
- 発注者 ヨシワ工業株式会社
- 施工者 五洋建設株式会社 中国支店
- 工期 2018年10月15日～2020年4月30日
- 工事概要 地上2階、鉄骨造
敷地面積 / 12,010.46㎡
建築面積 / 5,773.17㎡
延床面積 / 9,972.83㎡



イメージ

想定していなかった建設が 大事なライフワークに。

編集部※建設業界に進んだ理由は何か。
小 林※日曜大工が好きで父と一緒に、子どものころ家庭用の駐輪場や小屋を作っていました。でも特に建築の仕事をしたと思っていただけではありません。高校生のときは美容関係に興味を持っていました。昔から続いていたスポーツの有名な監督がおられる大学を選び、それが工業大学だったことから建築の道に進みました。
編集部※現在の仕事内容について教えてください。

小 林※工場の新築工事に携わっています。まだ始まったばかりの更地状態で、これから杭を打ったり掘削したりします。その基礎工事に際して、職人さんへの入場時教育も行います。作業時間や車両の通行ルートに関すること、あるいは「ここは立ち入らないでください」といった現場のルール説明です。

編集部※コミュニケーションがとても重要になってくる立場ですね。

小 林※はい、しっかりとるように努めています。入社してのころは職人さんによくジュースを買っていただきました。「ほかの方からもらったの

で大丈夫ですよ」と言っても「じゃあ明日の分ね」なんて、たくさんもらいました(笑)。すごくかわいがっていただいたことを覚えています。

同じ所長から 多くのことを学びながら。

編集部※仕事で心がけていることは何かですか。
小 林※「今日も事故がないように」と毎日心がけています。所長に付いて現場を回りながら、危ない箇所があれば直していきます。現場は現在4つ目ですが、新築現場3つは全て同じ所長の下で施工管理を勉強しています。所長は私が何か



質問するたびに、どんなに忙しくても丁寧に答えてくれます。そのことには感謝の言葉しかありません。

編集部※所長さんからどんなことを学びましたか。
小 林※前の現場でやったことを次の現場で深めていく、そんな仕事と向き合う姿勢です。「これは以前にやったな」ということを思い出しながら、同じミスは繰り返さないよう気をつけています。

編集部※男性社会での苦労はありますか。
小 林※大学も男性が多かったのですが、それはないです。いろいろな迷惑はおかしていると思いますが、皆さんとても優しいです。そういう意味では、女性だからと周りが気づかっているのかもしれませんが、とにかく職場環境にはすごく恵まれているので、仕事をきつと思ったことはありません。

編集部※それは精神的に、という意味ですか。
小 林※はい。工事現場ですからそれなりに体力はありますが、精神的なつらさというのはまったくありません。それに、この仕事は何よりやりがいがあると思います。建物が出来上がっていく様子を間近で見られるのは、施工管理という仕事の一番の醍醐味です。

いつか海外でスケールの 大きな仕事をすることが夢。

編集部※今後の目標について教えてください。
小 林※実務経験2年を経過するので、一級建築士の資格取得にトライしたいと考えています。スクールに通ったり、朝早く出勤して勉強したりと、今まさに準備を進めているところです。中国支店では、毎週土曜日に資格取得を目指している人たちが集まって勉強会も開かれています。まだ参加できていないのですが、これも活用していきたいです。

編集部※一級建築士を持って挑戦してみたいことはありますか。
小 林※私は「海外で活躍したい」という理由で五洋建設を志望しました。当社では「土木」「建築」「国際」を三本柱に掲げています。私もいつかスケールの大きな仕事をしてみたい、というのが夢です。国内外を問わず、デザイン性のあるスタジアムやミュージアムのような難度の高い建築にもかかわってみたいです。

編集部※結婚や出産を経ても仕事は続けてい

きたいですか。
小 林※はい。単身赴任をして活躍中の女性社員もいるので、ぜひそうした先輩たちに学びたいと思っています。



▲会社の同僚たちと、休日にスノーボードへ行きました。



▲京都が好きなので、一人旅に出かけることもあります。

工事現場で活躍
現場レポート▶▶▶ 女性技術者が現場を愛する
けんせつ小町

唯一のものを造る感動を、 念願のトンネル工事で実感。

大成建設(株) 中国支店
静岡仁摩道路五十猛トンネル工事作業所

勝田 つかささん

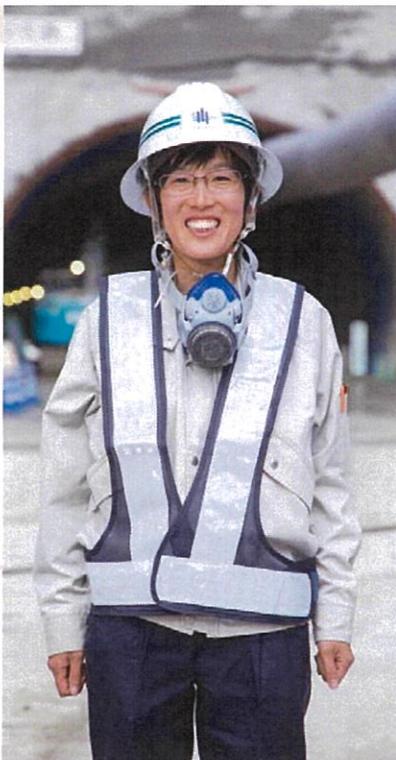
(しょうだつかさ)

京都府生まれ。立命館大学大学院理工学研究所創理理工学専攻修了。2009年大成建設入社。2018年2月から現作業所に配属。課長代理。



現場情報

- 工事名称 静岡仁摩道路五十猛トンネル工事
- 発注者 中国地方整備局
- 施工者 大成建設株式会社
- 工期 2017年8月23日～2020年3月31日
- 工事概要 工事延長1,220m / 内空断面積57.52㎡ / トンネル(NATM) / 掘削支保1,082㎡ / 覆工コンクリート防水1,082㎡ / インバート 958m

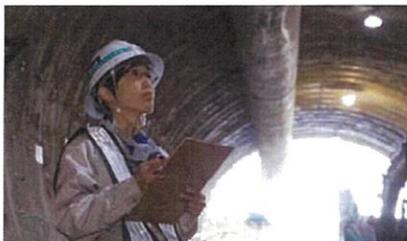


**構造物に興味津々。
「地図に残る仕事。」に憧れて。**

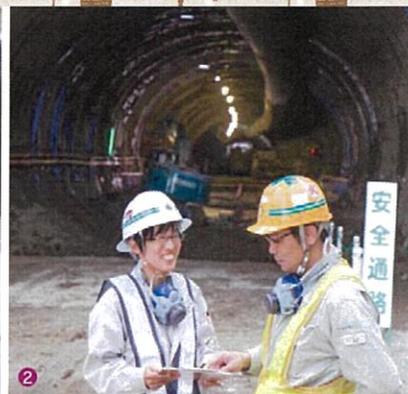
編集部※建設業界に進もうと思ったきっかけは。
勝田※私は関西出身なのですが、小さいころ四国へはフェリーで渡っていました。でも高校生になると明石海峡大橋ができて車で行けるようになり、利便性を実感しました。長大橋を間近に見てその雄大さにひかれたのもきっかけの一つです。

編集部※構造物に興味があったのですか。
勝田※まさに「地図に残る仕事。」に憧れました。入社後初の配属は高速道路のトンネル工事でしたが、すでに掘削を終えた状態だったので「いつか掘削にかかわってみたい」と思っていました。その後、下水処理場の解体、河川の貯水池、高速道路の工事、さらに本社で土木本部の企画室を経て、現在の現場に配属されました。
編集部※圧倒的に男性の多い世界ですね。
勝田※今でこそ女性がいても当たり前になり

ましたが、私が入社したころは女性が現場に入る下地がやっとできてきた時代でした。特に山岳トンネル工事では昔は「山の神は女性だから、女性が入ると怒る」というような迷信があったため女性技術者はほとんどいませんでした。それもここ10年で随分変わってきたと思います。
編集部※働き方なども変わってきましたか。
勝田※週休2日や時短など多様な働き方ができる環境が整ってきました。当社の現場でもシフトを回すことでみんなが週に2日休めるようにしています。



▶現場には大成建設のキャッチフレーズが掲げられています。この言葉をいつも胸に刻んで仕事をしています。



- ①毎日、翌日の作業内容を確認。男性の多い社会ですが、「女性らしく」というより「自分らしく」活躍できればと思っています。
- ②はたから見ると同じように見えますが、トンネルの掘削は日々表情が変わります。事故のないよう、打ち合わせも綿密に。
- ③目標はいつか所長を経験すること。確かな指示を出せるようプレゼンテーション力も磨きながら、知識と経験を積み重ねていきたいです。
- ④鉄筋が所定の位置にあるかをチェック。質の高いものづくりはもちろん、日々の安全管理にもしっかり努めています。

**「女性」としてではなく、
「私」として評価された。**

編集部※念願の掘削にかかわってみてどうですか。
勝田※面白いですね。トンネルの先端部分、地山の見えているところを「切羽(きりば)」と呼ぶのですが、その表情は毎日変わります。工事に二度と同じものはなく、唯一のものを造っている感動を日々感じています。もちろん自然相手なので、想定外のことが起きることも含めて予測しておかなければなりません。そうやって安全管理と品質管理に努めるのが、施工管理の仕事です。
編集部※「女性目線」が仕事に生かされることはありますか。
勝田※私は「女性らしく」よりも「自分らしく」仕事をしたいと思っています。本社勤務のとき土木技術雑誌の編集に携わった経験があり、そこでインタビューした女性がこれまで男性と変わらない!とおっしゃったんです。「女性としてやっていくということですか」と尋ねると、「あなたとしてやっていけばいいよ」と。その答えを聞いてストンと腑に落ちるものがありました。もともとそう思っ

ていたことを、うまく言葉にしてもらった感じがした。良いところ悪いところも「私」として評価されたと思います。

**判断に迷うのは、知識や
経験が足りない部分。**

編集部※仕事で心がけていることは何ですか。
勝田※判断がぶれないようにすることです。私の判断や指示がぶれると、作業員さんたちの仕事に影響が出ます。もちろん臨機応変な対応が必要なる場合もありますが、そのときは理由をきちんと説明できるように心がけています。
編集部※これからの目標は何ですか。
勝田※技術的なスキルアップという面では「技術士」の資格取得を目指しています。そしていつか所長を経験することが目標です。そのためにも上司のやり方に学びながら「こんなとき私ならどうするだろうか」と考える姿勢を大事にしています。判断に迷うことがあれば、それは知識なり経験なりが足りない部分です。
編集部※休日の過ごし方を教えてください。
勝田※最近ゴルフに本格的に打ち込んでいて、休日は上司と一緒にコースを回ったりしています。

編集部※建設業界を目指す人たちにメッセージをお願いします。

勝田※一人ではトンネルは掘れませんが、多くの人の力を合わせれば掘れます。これはすごいことです。女性の活躍もはや当たり前になっているので、長く後世に残せるものづくりに興味がある方は、ぜひ勇気をもって一歩を踏み出してみてください。面白い世界が待っていますよ。



▲クラシック島根カントリークラブで、作業所のメンバーと一緒にゴルフを楽しみました。

工事現場で活躍
現場レポート▶▶▶ 女性技術者が現場を愛する！
けんせつ小町

想像以上に多くの人々の力で 動いていく現場に感動。

(株)竹中工務店
広島支店

宮野 慧子さん

(みやの けいこ)

広島県生まれ。広島工業大学工学部建築工学科卒。2017年竹中工務店入社。2018年7月から広島二葉の里NKビル新築工事に配属。



現場情報

- 工事名称 広島二葉の里NKビル新築工事
- 工事場所 広島県広島市東区二葉の里1丁目126-2
- 発注者 JR西日本不動産開発株式会社
- 施工者 株式会社竹中工務店
- 工期 2018年6月～2019年5月
- 工事概要 構造:鉄骨造
規模:地上10階 敷地面積 / 656㎡
延床面積 / 約2,874㎡



イメージ



- 職人さんに作業内容を細かく指示していく。「まだ分からないことも多く、職人さんから教えてもらうこともあります。皆さんとても親切で、仕事もやりやすいです。」
- トランシットで建物が曲がっていないか測量するのも大切な仕事。少しのずれが、後の工事に影響するため、緊張感を持って作業している。
- 設計図面通りに仕上がっているか、注意を払ってチェックしていく。「何かトラブルが発生した時は先輩に相談したりして、すぐ対処しています。」
- 鉄骨工事の品質確認用チェックシート。溶接作業の時は、決まった温度以上にならないよう溶接時のバス間温度を測定する。「最初は専門用語も多くて、慣れるまで大変でした。」



たまたま興味がある分野に 男性が多いというだけ。

編集部※現在の仕事内容を教えてください。
宮野※ホテルの新築工事において、工程管理や安全管理、品質管理を担当しています。現場では工事が工程通りに進んでいるかをチェックしたり、工事写真を撮影したりします。また、事務所のデスクワークでは、施工計画や図面の把握をしています。入社してまだ年月も浅いので、先

輩社員に教わりながら仕事を一つひとつ覚えているところです。
編集部※現場はいくつ目ですか。
宮野※3つ目です。最初は神戸の商業施設、2つ目は広島県の私立高校の解体工事にかかりました。今回初めて、何もない更地に建物が出来上がっていく工事に参画し、その過程を目の当たりにしているところです。入社前は建物の建つということをもっと安易に考えていましたが、想像以上にいろんな人たちの力が合わさっても

つくりが進められるんだな、ということを感じています。職人さんたちの手もすぐかかっているんだなって。
編集部※男性が多い職場への不安はありませんでしたか。
宮野※それはまったくなかったですね。自分の興味のある分野がたまたま建設業界で、男性が多かったというだけのことだと思います。先輩や職人さんは優しい方ばかりで、経験が足りないところは丁寧にフォローしてください。

しっかりした事前準備で、 仕事の流れをスムーズに。

編集部※仕事をする上で心がけていることはありますか。
宮野※事前準備を怠らなことです。工事の手順もしっかり頭に入れておいて、手順通りでないところがあれば職人さんに質問するようにしています。また、資材の発注時にファックスやメールだけを送っておしまい、というようなことはせず、電話確認を必ず行うようにしています。以前、自分

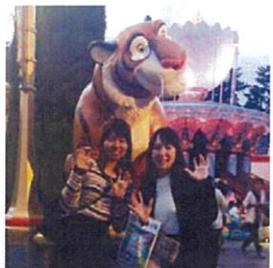
ではきちんと発注できているつもりだったのに、別の物が届いたことがありました。発注ミスがあると職人さんにも迷惑がかかります。こうした経験から、ミスをなくし、相手のことを考える働き方を心がけ、確認するようにしました。
編集部※女性ならではの視点や感性が役立っていることはありますか。
宮野※以前、学校の解体工事のとき現場を少しでも明るくできればと思って、場内に掲げる看板を自分のアイデアでカラフルに録取ったことがありました。特にそれに対して周囲からコメントはなかったですが(笑)。これからは女性ならではの視線を大切に、少しでも明るく働きやすい環境をつくっていただきたいと思います。

えるようになりました。
編集部※これからやりたいことはありますか。
宮野※ラグジュアリーな内装工事に携わってみたいですね。このホテル新築工事が、これから内装工事になるので楽しみにしています。
編集部※キャリアアップのために取り組んでいることはありますか。

宮野 建築士や建築施工管理技士の資格取得に向けて、仕事が終わってから勉強しています。将来的には結婚して子どもが生まれても、この仕事はずっと続けていきたいです。そう思うようになったのは、子育てをしながら所長をされている方に、就職活動中に会ったことがきっかけでした。その方はとても生き生きと働いておられて、すごく格好よかったんです。私もそんな素敵な女性になりたいな、と憧れました。

仕事も家庭も充実した、 素敵な女性になりたい。

編集部※この業界を選んだきっかけは何ですか。
宮野※父が施工管理の仕事をしていて、小さいころから旅行などに行く建物を見てきて自然と関心を持つようになったんです。大学に入学して、最初は設計職を目指していたのですが、だんだん「現場で人とかかわる仕事がしたい」と考



▲東京に配属された同期と大好きな東京ディズニーランドに行き、リフレッシュしました。



▲毎日昼前には協力会社の方々と打ち合わせを行い、進捗状況や危険作業などの確認をする。全体で情報を共有することで、円滑に作業が進んでいく。



▶デスクワークでは現場で撮影した写真の整理や報告書を作成。「明日のスケジュールを確認して、工事の手順をしっかり頭に入れて現場に出ています。」

工事現場で活躍
けんせつ小町
現場ルポ▶▶▶ 女性技術者が現場を変えろ!

スムーズな現場運営のための サポート業務で力を発揮。

西松建設(株)
中国支店 広島事務管理室

武 美友子さん

(たけみゆこ)

鹿児島県生まれ、広島県育ち。聖和大学(現・関西学院大学)を経て、広島外国語専門学校総合英語コースを卒業。2015年西松建設入社。2018年12月から山口県の現場に配属。



西松建設株式会社



主な業務内容

- 現場事務(総務・経理・安全衛生等)全般現在の主な担当
- ・労災保険などの書類作成
- ・安全対策のための現場パトロール
- ・起工式・竣工式の手配・運営
- ・災害協議会で下請け会社の安全教育
- ・支店イベントの運営 など



英語力を生かした 翻訳業務から建設業界へ。

編集部※仕事内容について教えてください。

武 ※中国支店が管轄する各現場のサポート業務を担当しています。労災保険関係をはじめさまざまな書類の作成から、経理業務、災害防止協議会の会議への参加、安全祈願祭の運営など、業務内容は多岐にわたります。先ごろ山口で開催されたJリーグのスポンサーゲームのお手伝

いもしました。

編集部※建設業界に入ったきっかけはですか。
武 ※学んだ英語を生かしたいと思い、建設業界で翻訳業に就きました。岩国の米軍基地での住宅改修工事でしたが、初めは翻訳以前に建設用語が分からない状態でした。「[パツリって何?]というような(笑)。少しずつ建設のことが分かるにつれ、この業界に興味を持つようになりました。

編集部※入社してみて建設業界のイメージは変わりましたか。

武 ※イメージというより、自分自身の意識が変わりました。以前は工事現場を気にすることは特になかったのですが、この業界で働くようになってからは街中のいろんな現場が身近に感じられ、仮囲いの掲示板一つをとっても「こんな工夫をしているんだ」と注目するようになりました。

多様な人材の活躍が、 社会を変えていくと思う。

編集部※男性の多い社会に戸惑いはありませんか。



◀複数の現場の書類関係を担当しています。サポート業務を通して、ものづくりの一端を担う喜びがあります。

▲まだまだ先輩から教わることも多いです。分からないことはまず自分で考えてから聞くようになっています。

んでしたか。

武 ※部活動でずっと陸上をしてきたこともあり、男性社会の中でコミュニケーションをとることに戸惑いはなかったです。入社後は現場事務として広島市内の3カ所の現場を経験したのですが、女性専用のトイレや更衣室の設置など、働きやすい環境づくりも進んでいると感じました。「ここはこうしてほしい」という意見があれば、真摯に耳を傾けて改善してもらえます。私も手洗い場に鏡がなかったので「あった方がいいですね」と提案して採用されました。

編集部※女性ならではの視点が役立つことは多いですか。

武 ※私はバックグラウンドが少し変わっているため、女性だからというより、多様性の面から役立つことが多いかもしれません。現在当社では部署の垣根を超えた交流に力を入れており、異なる部署が連携して現場パトロールに出かけたりもしています。そこでも自分なりの視点から「ここは危ないのでは」といった気づきを大切にしたいと考えています。

編集部※バックグラウンドが変わっているとは、英

語を通じてこの業界に興味を持ったことですか。
武 ※それもありますが、私は前職で外国人労働者技能実習生のサポートや、学生時代にアルバイトで医療事務に携わっていたことがあります。そのとき扱っていた書類や保険を、今の仕事でも取り扱うんです。そんな多様な知識が役立つのかなと思います。

資格取得も視野に入れ、 現場事務として成長中。

編集部※仕事で心がけていることは何ですか。
武 ※現場は一つではなく複数あるため、進捗状況をリスト化するなどで工夫しています。また、分からないところは自分で一度考えてから聞くように心がけています。

編集部※今後の抱負を教えてください。

武 ※現場のサポート業務は幅広く、まだまだ多くのことを学ばなければなりません。今は「建設業経理士」の資格取得を目指しています。

編集部※休日はどう過ごしていますか。

武 ※もともと体を動かすことが好きなので、サイクリングやスノボなどアクティブに活動してい

ます。2018年冬からは山口県内の4つの現場を担当する現場事務として配属されているので、海に山に山口ライフを満喫したいと思っています。

編集部※建設業を志す人に一言お願いします。

武 ※現場は一ひとつと場所も建てるのもメンバーも違います。その経験が増えれば増えるほど出会いも広がります。建設業界で働くことの魅力が実感できます。建設を学んだ人も、私のように異分野から飛び込んでくる人も、現場では一からあらためて学ぶことになるでしょう。それぞれの力を発揮しながら、素敵な仲間を増やしてください。



▲休日は、同僚と一緒にロードバイクやスノーボードを楽しんでリフレッシュしています。



①月に一度、事務職も現場パトロールに同行し、多方面からの視点をいれることで危険箇所への発見拡大、安全対策に努めています。

②各現場で職員会を発足し、会費を集め、現場環境を整える費用に当てたり、季節に応じたちょっとしたイベントも行います。

③中国支店の全職員が集まる研修に参加しました。グループワークで発表を行いました。

④各現場で月に一度協力業者の専長を集め、工程の建設や安全について教育する災害防止協議会に参加し、会議後議事録を作成しました。

⑤現場での起工式や竣工式の段取り、手配、運営までを行います。現場により規模や場所も異なり、ある建築工事の起工式は、式典を神社で執り行い、準備から司会進行まで行いました。

⑥事務のスキルアップのため、定期的に事務研修会を行い、知識を深めています。



工事現場で活躍
けんせつ小町
現場レポート▶▶▶ 女性技術者が現場を交える!

良好なコミュニケーションが、 ものづくりの達成感を生む。

(株)フジタ 広島支店
建築工事部

霜村 梨紗さん
(しもむらりさ)

東京都生まれ。東京家政学院大学現代生活学部生活デザイン学科卒。2016年フジタ入社。2017年3月から広島二葉の里プロジェクト作業所に配属。



現場情報

- 工事名称 (仮称)広島二葉の里プロジェクト
- 工事場所 広島県広島市東区二葉の里3丁目8番7
- 発注者 大和ハウス工業株式会社
- 施工者 株式会社フジタ
- 工期 2016年9月1日～2019年3月31日(31ヶ月)
- 工事概要 構造 地2階 RC造(一部SRC造)、地上20階PH2階 S造(CFT柱) / 敷地面積 6,339.23㎡(1,917.62坪) / 建築面積 3,209.13㎡(970.75坪) / 延床面積 49,749.21㎡(15,049.13坪) / 特殊工法 TRD工法(山留および壁圧水対策の連水壁工事)、逆打ち工法、鉄骨柱(CFT柱)、新築構造(制震オイルダンパー、制震スリット、制震梁柱)、インターロック型ユニットACW



- ① 声かけは積極的に行っています。何気ない会話を通し、話しやすく、質問しやすい環境づくりを目指しています。
- ② コンクリートを打設したあと、流し込みがしっかりとできているか、予定の箇所が完了しているかについて確認します。
- ③ 現場の安全のために、ポスターを手づくりしています。目に留まりやすいよう、イラストを使用したり工夫をするように心がけています。
- ④ 建築中の建物の4階にあるサテライトオフィスで、近日の作業のスケジュールを各担当と打ち合わせます。情報を共有することでスムーズな作業の進行を目指しています。

**「君のよく通る声は、
現場監督に向いている」。**

編集部※施工管理を志したきっかけは、

霜村※大学で建築を学んだとき、図面を描くより模型作りの方が楽しめたと感じました。友人や先生と「こうした方がいいんじゃないか」と話しながら課題に挑戦することが面白かったです。

編集部※それでゼネコンを選んだのですか。

霜村※そうですね。大学2年のとき先生からも

「君はゼネコンに行きなさい」と言われました。「声がよく通るから現場監督に向いている」と。電動工具や重機が稼働する中、はっきり声が聞こえ、聞きやすく良いねと職人さんから言われます(笑)。

編集部※現在の仕事内容について教えてください。

霜村※広島駅北口に2019年春の誕生に向けて工事が進む「(仮称)広島二葉の里プロジェクト」に携わっています。私の担当は12～20階、屋上までの高層階です。鉄筋工事、型枠工事、コンクリート工事等で作業の指示出しや工程ど

おりに進んでいるか確認を行っています。作業に空白が生じないよう、日々現場レベルで細かな調整に努めています。

職人さんに気持ちよく働いてもらえるような工夫を。

編集部※入社前後でこの業界へのイメージは変わりましたか。

霜村※まず学生時代にフジタに見学に来たとき、女性が施工管理として活躍している姿を見

て、建設業＝男性社会のイメージが変わりました。それでも現場は頑固な方が多いのではと思っていましたが、これも全然違いました。皆さん気軽に話しかけてくださるし、すごく紳士的です。こちらの熱意をはっきり伝えればきちんと理解していただけるし、いろんな見方や意見も全部自分のためになっています。

編集部※仕事で心がけていることはありますか。

霜村※たわいもない会話も含めて、とにかく話をする事です。その中から重要な話がパッと飛び出すこともあります。それから、職人さんからの質問にはなるべく迅速に回答すること。それが信頼にもつながります。

編集部※情報共有も現場では大事なことですね。

霜村※はい。今の現場は300人以上の大きな現場なので、伝達することはとても重要です。私は現場の各所に自分でデザインした掲示物を貼って、多くの皆さんの目を引くよう工夫しています。トイレの位置を分かりやすく表示したり、熱中症対策の注意を呼びかけたりしています。

編集部※女性らしい気がついそうですね。

霜村※でしょうか。少しでも現場を明るくしようと、以前は花壇も造っていました。あとはクリスマス等季節ごとの飾り付けもしています。皆さんに

いかに気持ちよく働いてもらうかも、大事な仕事の一つですからね。あと意識しているのは、周囲をよく見ることです。例えば、通路に物が置いてあって搬入車両の妨げになっていないか、溶接している人の足場に可燃物がないか。あるいは現場のどこに何があるか、といったことを観察するようにしています。

**プライベートの充実が、
よりよい仕事を支えてくれる。**

編集部※今後の目標や夢を教えてください。

霜村※1級建築施工管理技士の資格取得を目指しています。会社がタブレット端末で勉強できるシステムを導入してくれたので、それを活用して過去問に取り組んでいます。いつか有名な建築デザイナーさんとタッグを組んでみたい、という夢もあります。また、結婚しても育児をしながら時短を使うなどで仕事は続けていきたいです。当社ではそういう実績がいくつもありますから。

編集部※プライベートは充実していますか。

霜村※恋人、友人、家族と一緒に観光や趣味のテニスを楽しんでいます。自分一人のときは整体や買い物、おいしいものを食べに行くなどして気分転換しています。プライベートを充実させることで仕事のやる気も変化していきます。

編集部※最後に、建設業界を目指す人たちにメッセージをお願いします。

霜村※人と話すことが好きな方は、ぜひ飛び込んでください。積極的な興味・関心があれば良好なコミュニケーションがとれ、その先にはものづくりの大きな達成感があります。



▲同僚が広島に遊びに来た際の記念写真。



▶資料整理や工程管理を担当しています。寸法などを聞かれた際に図面を見てサイズを確認し、指示しています。



工事現場で活躍
現場レポート▶▶▶ 女性技術者が現場を変える!
けんせつ小町

構造設計という仕事を通して、 信頼が徐々に育まれる喜び。

三井住友建設(株) 広島支店
建築部 課長 設計グループ長

井上 晶さん

(いのうえ あき)

高知県生まれ。早稲田大学理工学部建築学科卒。1996年三井建設(現三井住友建設)入社。2016年広島支店に赴任。一級建築士、構造設計一級建築士。



三井住友



10年後、20年後を 見据えた仕事をしたい。

編集部※建設業界に興味を持ったきっかけは。
井上※小学生のころ家の増築を手がけてくれた大工さんの仕事を見て、建築の世界にひかれました。大学は建築学科に進み、そこで構造設計という分野にも興味を持ちました。
編集部※現在の仕事を教えてください。
井上※中国地方で、強度計算も含め建物の

骨組みをデザインする構造設計を担当しています。三井グループの会社工場内には常駐の現場があります。例えば「機械を取り替えたい」「新しくクレーンを設置したい」といった相談を受け、基礎や建物の補強などを提案します。施工が決まれば図面化し、着工後は図面通り進んでいるかを現場でチェックします。また、支店内では意匠設計も含めた設計グループの長を務めています。
編集部※仕事をやる上でのモットーは何ですか。
井上※構造は今問題がなくて、10年後、20

年後を見通しておく必要があります。将来的に予測し得る問題は設計段階で解消するよう心がけています。

管理職として力をつけていくことも 今後の課題。

編集部※仕事のやりがいを感じるの、どんなときですか。
井上※工場内はほぼ男性社会です。打ち合わせの相手も男性が多く、私が何う言葉には出さなくても「えっ、女性?」と思われていることでしょ。それが時間の経過とともに様子が変わってきます。初めは間接的にやりとりしていたものが、直接質問をいただくようにもなります。「信頼してくださっているんだな」ということを実感するときは、やはりうれしいです。
編集部※女性ならではの視点や感性が役立っていることはありますか。
井上※女性って何事もよく観察しますね。話の内容だけでなく、相手が何を考えているか、感

◀ミスのないよう入念に図面を確認。現場にもしはしば足を運び、工事が図面通りに行われているかもチェックします。



① 三井グループの会社工場内には常駐現場があります。所長をはじめ現場の方たちとの良好な人間関係づくりが欠かせません。

② 広島支店で構造設計を担っているのは私1人。中国5県の設計業務に幅広く対応しているため、忙しい毎日過ごしています。また、部門の長としての責任な監査を受けるため、部門の目標に対する管理と評価を行います。

③ 客先でプレゼンテーションを行っています。心に響くよう繊細かつ堂々とするよう心がけています。

触”も大事にします。それが人間関係づくりにおいて役立っているのかもしれない。

編集部※男性社会に戸惑いはありませんでしたか。

井上※会社自体の雰囲気がとてもよいので、働きづらということはありませんでした。ここ10年ほどで待遇面も改善され、いよいよ平等にキャリアを築ける環境が整ってきたと感じています。
編集部※普段から心がけていることはありますか。
井上※必要以上に張り過ぎないこと、肩の力を抜くこと、認めてもらおうと焦らないことです。時間をかければ、いつかは認めてもらえると感じています。それから多くの本を読み、知識や情報を増やすことも心がけています。今後は管理職として力をつけていくことも課題なので、そのために心理分析や管理職の女性が書いた本をよく読んでいます。それも男性社会の中で活躍してきた女性の本ですね。人うまく動かすためのヒントを見つけて、役立ってほしいと思います。

構造設計の実務者としても まだまだ活躍を。

編集部※今後の抱負を教えてください。
井上※まだまだ実務をやりたい、という思いが

あります。あでもない、こうでもない、と周りにも相談しながら、よいものづくりに携わってきたいです。私はずっとオールラウンダーでやってきたので、「この分野ならの人に聞け」と言われるようなスペシャリストにもなっています。また、管理職としては部下の能力を生かして、気持ちよく働いてもらえるよう努めています。

編集部※ワークライフバランスはとれていますか。
井上※4年前から技術向上のためのオートバイのスクールに通っていて、プライベートも充実しています。バイクを通じて出会った夫とは、関東の自宅に5台のバイクを所有しています。今は月に2回の帰宅が楽しみです。

編集部※最後に、建設業界を目指す女性にメッセージをお願いします。

井上※会社はちゃんと見てくれているので、頑張ればきっと報われます。結婚や出産に合わせて多様な働き方をするためにも、やはり男性の理解は欠かせません。男性が育児で休むということが早く当たり前になれば、と願っています。これは男性へのメッセージですね(笑)。



◀単身赴任先から帰った時には、夫と二人で近所にツーリングに出かけています。



▲オートバイのテクニクを磨くことに夢中です。転倒当初はオートバイも持ってきて練習していました。ライディングスクールやオートバイの練習会に参加し始めて5年目になりました。